工場又は事 株式会社 荏原製作所 業場の名称 富津事業所

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9				L 5 L

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

排出量を工場移転前(平成21年度)と比べて30%以上削減を維持にする。

また、指針第4の4(5)による「VOC排出量をVOC使用量の50%以下に削減する」を ------平成26年度までの目標とする。

1. 塗料対策(11、12)

低VOC塗料:標準化、客先への提案、実機への適用、評価

- 2. 溶剤対策:蓋閉めの徹底(21)
- 3. 洗浄剤対策

洗浄方法の工夫・変更(29)、高圧蒸気洗浄の使用頻度向上(29)

洗浄工程の廃止(29):防錆方法の変更

4. その他の対策

廃棄物管理(99):残液の回収、残液のVOC含有量の算出

塗料庫の入出庫管理の徹底(99)、エアラップガンの使用(39)

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	1 2	2 1	2 9	3 9	9 9		÷		

工場又は事新日化エポキシ製造株式会社業場の名称千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 2	2 9	5 3							

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

基本的に既設は、下記の内容を採用した設備となっております。
①常温より高い温度の溶剤排気ガス系統に対しては、凝縮コンデンサーと、更に
低温冷媒を通水したアフタークーラーを増設し、大気への溶剤排出を防止しています。
②凝縮コンデンサーの水量の適正化により、大気への溶剤排出量を削減しています。
*

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
3 2	2 9	5 3							

工場又は事 業場の名称 新日化エポキシ製造株式会社 千葉工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

一 (「) 季年十及にのける地性に	<u> </u>	<u> </u>	7.1							
				基	準	年	度			
	平成12年度									
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場		3	6	0	0	0	0	0	•	
では、下段に指数表示で記載すること。)					×	1	0			
排出等の量 (kg/年度)			1	2	0	0	0	0	•	
処 理 回 収 率 (%)		\	\	_			9	7		

基準年度までに、浮屋根式 又は内部浮屋根式タンクに改 固定屋根式タンクの基数(造した

備考

- 1この項の提出は任意であること。
- 2基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当 する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策 について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 3									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄 に具体的に記入すること。

,	,
	 ·

工場又は事 新日化機能材製造株式会社 業場の名称 木更津エスパネックス工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

7	対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策7		対策8		対策 9		対策 10	
1 7	2	1	3	1	3	4	5	2	5	4	9	1								

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

1	
	·
	1
	- \$ - \$
	•
	a la companya di managantan
700000000000000000000000000000000000000	======================================
1	
1	
1	

備考3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策7	対	対策 8		対策 9		ŧ 10
2	1	3	1	3	4	5	2	5	4	9	1	-						

工場又は事 新日化機能材製造株式会社 業場の名称 木更津エスパネックス工場

- 3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
 - (1) 基準年度における処理回収率等

	(1) 本千人における.			⊣ ∙∨	٠,	',1				
					基	準	年	度		
*				7	区成	t 1	8 :	年月	篗	
W.	使用量									
	(kg/年度)		2	6	0	0	0	0	0	
	(1億キログラムを超える									\setminus
	場合は、下段に指数表示	$ \cdot $				×	1	0		
	で記載すること)									
	排出等の量									
	(k g / 年度)				1	4	0	0	0	
	処理回収率		_							
	(%)			\	\			9	9	
	the de									

基準年度までに、浮屋	退 ፺	式ク	7	ン
ク又は内部浮屋根式タ	7 1	クル	<u> </u>	5
年度造した固定屋根式タン	ク	のま	基	数
(基)				

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量×100}
- (2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対兌	乗 1	対領	衰 2	対領	策 3	対領	栽 4	対領	衰 5	対策 6	対策	7	対策 8	対策	9	対策	
2	1	3	1	5	2	5	4	9	1					***			

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

備考この項の提出は任意であること。

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載するこ

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	5 4] 		1	1			

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を

次の欄に具体的に記入すること。		
·		
	**************************************	•

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	5 4	1				1	,		

工場又は事 株式会社 横河システム建築 業場の名称 千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

	対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
-	1 1	9 9	1		t t		t t t	-		1

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

サダロアのアクング
対策2について
引き続き接着剤を使用する断熱材仕様から、接着剤を使用しない敷設タイプの
断熱材仕様へ、その採用割合を極力増やす。
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
i i i i i i i i i i i i i i i i i i i
e e

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	9 9	-	-					1)) t t

工場又は事 日 鐵住金建材株式会社 業場の名称 君津鋼板工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 1	5 6	9 1		1	-	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 5 5 1

その他(19,29,39,49,59,99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記みすること

次の欄に具体的	に記入すること。		
****	··· •		
	~~~~~~~~~		 
	••••		 ~~ <b>~~~</b>
		~~~~~	 
			 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	3 1	3 2	3 4	5 6	9 1			

工場又は事	新日鐵住金株式会社
	君津製鐵所

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

	対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
Ī	2 2	3 1	3 3	3 9	5 4	2 1	2 3	2 9	9 3	4 9

対	策 11	対	策12
5	1	5	6

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策4について
VOCを含むガス冷却設備の排気を副生ガス配管に回収しました。
対策8について
洗浄剤を再利用することにより、洗浄剤の廃棄量を削減しました。
対策10について
VOCを含む軽油タンク・蒸留塔の排気を副生ガス配管に回収しました。
·

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

	対策 1	対	策 2	対	策 3	対領	兼 4	対	策 5	対	策 6	対領	衰 7	対	策 8	対	策 9	対領	策10
2	2	3	1	3	3	3	9	5	4	2	1	2	3	2	9	9	3	4	9

対策	₹ 11	対	策12
5	1	5	6

新日鐵住金株式会社 工場又は事 君津製鐵所 業場の名称

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策(1) 基準年度における処理回収率等

(1) 選挙中及にわりる処	4	<u> </u>	-	14						
)0(
使 用 量 (kg/年度) (1億キログラムを超える場 合は、下段に指数表示で記 載すること。)	4	7	0	0		\ <u>0</u>	0	0	•	
排出等の量 (kg/年度)		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2	8	0	0	0	0		
処理回収率 (%)		<u> </u>	\	\			9	9	•	

基準年度までに、浮屋村は内部浮屋根式タンクに 固定屋根式タンクの基数	こ改	造した	
			0

備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量}×100
- (2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選 んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
2	2	3	1	3	3	3	9	5	4	1									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。 対策4について VOCを含むガス冷却設備の排気を副生ガス配管に回収しました。

備考この項の提出は任意であること。

_		
工	場又は	富士石油株式会社
事	業場の名称	袖ケ浦製油所

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとずる場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2					1			

その他対策(19、29、39、49、59、99)を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対象油種の充てん出荷施設には平成2年3月までに炭化水素回収施設を付設し、出荷充てん時に排出されるVOCの約90%を回収している。

また固定屋根式の屋外貯蔵タンクに対象油種を貯蔵する必要が生じた場合は、その都度当該タンクを浮屋根式(又は内部浮屋根式)に改造した後に対象油種を導入することでVOCの排出抑制に努めてきている。

したがって、弊所においては既にVOC排出抑制に実施可能な設備対策は全て済ませていると理解している。

現時点で具体的な計画があるわけではないが、今後も屋外貯蔵タンクに対象油種の貯蔵をする必要が生じた場合等は、当然ながら必要な設備対応を完了した後でなければこれを実施しないことでVOC排出抑制に努めていく。

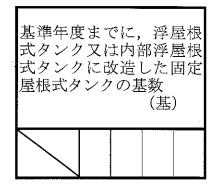
備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2								1

- 3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策
 - (1) 基準年度における処理回収率等

						基準	年度				
ř		平成12年度									
8	使用量 (kg/年度)									•	
	(1億キログラムを超える 場合は、下段に指数表示 で記載すること。)		6	•	4		×10		0	9	
	排出等の量 (kg/年度)			2	4	0	0	0	0	•	
	処理回収率 (%)		\	\			1	0	0	•	



備考

- 1 この項の提出は任意であること。
- 2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
- 3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。 (使用量で1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)。
- 4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。 {(使用量-排出等の量)/使用量} × 100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2								`

その他対策(19、29、39、49、59、99)を記載した場合は、対策の内容を次の欄に 具体的に記入すること。

【対策1(41)について】

「環境の保全に関する協定書」(以下、単に「協定」という。)の定めに基づき、対象油種を固定屋根式タンクに貯蔵する必要が生じた場合は、これを浮屋根式(又は内部浮屋根式)に改造後に導入することでVOCの排出抑制に努めている。

【対策2(52)について】

平成2年3月に充てん出荷設備に炭化水素回収設備を設置し、出荷充てん時に排出されるVOCの約90%を回収している。当時「協定」の定めでは炭化水素回収設備の運転期間を光化学スモッグ注意報等の発令される4月から10月の間とされていたが、弊所ではVOCのより積極的な回収を図るため当初より年間を通じ回収設備を運転してきている。

もし、炭化水素回収設備が設置されていないとした場合、基準年のVOC排出量は460000kgと 試算され、これを基準年の排出量と仮定すると、本計画書の計画年度と目標年度の排出量は 35%の削減率となる。

工場又は事 旭化成株式会社 業場の名称 川崎製造所 千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	5 4	2 1	5 1	3 1					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

(対策1)	原料タンクのブリザー弁の点検等、確実な工程管理を継続する。

	<u></u>

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	5 2	5 3	5 4	2 1	5 1	3 1	1	-	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

 工場又は事
 PSジャパン株式会社

 業場の名称
 千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	3 2	5 3	5 4		1	L 		 	

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること。

対	策 1 について
	・原料スチレンタンク温度管理を徹底し、調合工程でのガス発生量低減
	を継続していく。
	······································
	·

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 9	3 2	5 3	5 4				; t t		

工場又は事 東邦化学工業株式会社 業場の名称 千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	3 2	5 2	5 3	9 1	1		-	

その他(19,29,39,49,59,99)を選んで記載した場合は、対策の内容を なの欄に具体的に記入すること

次の	欄に具体的に記入す	上ること。		
		, 	 	
		.======================================	 	
1				
			 	
		· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	 	

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	3 2	5 2	5 3	9 1				

1	***************************************			
	工場又は事	株式会社	ADEKA	
	業場の名称	千葉工場		

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	9 1							-	,

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を たの場に具体的に記えまること

次の欄に具体的に記入すること。		

	3 3	

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	9 1			1					1

工場又は事	スーパーレジンクラフト株式会社
業場の名称	千葉工場

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策	1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2	1	2 2	9 1	9 2		1		1	1 1	

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を 次の欄に具体的に記入すること

次の欄に具体的に記入すること。	
·	
.	
·	
	i .

備考 3 (2) に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	9 1	9 2						1 1